

東京都立大島海洋国際高等学校

# 第2学年 保健

「働くことと健康」「働く人の健康づくり」

## 【注意事項】

- ① 教科書 P102～P103、P104～105 および P106 からの「保健編・用語解説」を読み、問題に答える。
- ② 問題を解き終わったら、別紙解答を参考にし、各自丸付けをする。なお、思考問題は担当教員で評価をします。具体的に考察しましょう。
- ③ 間違いがあっても構いません！大切なのは、自分で調べて、自分の力で解くことです！
- ④ 提出する際には、表紙（本用紙）を一番上にし、左上をホチキス止めする。
- ⑤ 提出期限は、他の課題と同じです。

記名を忘れず

2年 組 番 氏名

〔問1〕 次の文の（ ）にあてはまる語句を答えなさい。

こんにちでは、多くの産業で機械化・自動化が進み、( ① )は少なくなりました。代わりに増えたのが、コンピュータなどを使用する( ② )です。また、営業時間の延長や業務の国際化などにもなって、( ③ )や夜間勤務も増えました。さらには、インターネットや携帯電話の普及・発展によって、それらを活用した社外勤務や( ④ )が増えるなど、働き方の( ⑤ )が進んでいます。

①	②	③
④	⑤	

〔問2〕 次の文の（ ）にあてはまる語句を答えなさい。

働くことが原因で起こるけがや病気を、まとめて( ① )といい、そのうちとくに病気のことを( ② )といいます。(①)が起こる背景には、( ③ )や作業環境の問題があります。また、職業病も、( ④ )のように、長時間、心身に負担がかかる状態で作業をすること、( ⑤ )による健康障害のように有害物質にさらされる環境で作業することなど、不適切な(③)や作業環境によって起こります。

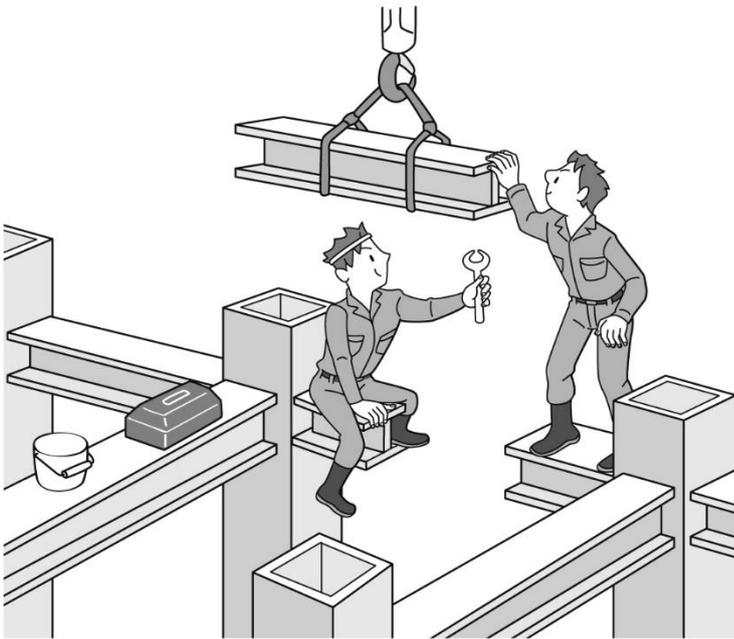
①	②	③
④	⑤	

〔問3〕 VDT 作業中のおもな注意点の下線部について、正しいものには○、間違っているものには×を書きなさい。

- ①画面は直射日光が当たる場所に置く。
- ②目と画面の距離は2メートル以上を確保。
- ③まばたきはなるべくしないようにする。
- ④画面は視線の下側に置く。
- ⑤机やいすを調節して楽な姿勢で。

①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---

〔問4〕 次の図の作業環境で、①危険な個所や行動を1つ抜き出さない。また、②次に安全に作業を実施するにはどのように改善すればよいかを説明しなさい。



①

---



---



---

②

---



---



---

〔問5〕 過労死について、以下の各問いに答えなさい。

長時間労働、深夜労働、( ① )の大きい( ② )(配置転換、出向・単身赴任)および、それらの負担にもとづく生活習慣の( ③ )が原因となって、( ④ )が蓄積し、( ⑤ )が発生し、死亡すること。

(1) 文中の( )にあてはまる語句を語群から選び、答えなさい。

①	②	③
④	⑤	

(2) 過労死とは、どのような病気で亡くなることが多いのか、3つあげなさい。

①	②
③	

# 解答

〔問1〕 次の文の（ ）にあてはまる語句を答えなさい。

こんにちでは、多くの産業で機械化・自動化が進み、（ ① ）は少なくなりました。代わりに増えたのが、コンピュータなどを使用する（ ② ）です。また、営業時間の延長や業務の国際化などにもなって、（ ③ ）や夜間勤務も増えました。さらには、インターネットや携帯電話の普及・発展によって、それらを活用した社外勤務や（ ④ ）が増えるなど、働き方の（ ⑤ ）が進んでいます。

① 肉体労働	② デスクワーク	③ 交替勤務
④ 在宅勤務	⑤ 多様化	

〔問2〕 次の文の（ ）にあてはまる語句を答えなさい。

働くことが原因で起こるけがや病気を、まとめて（ ① ）といい、そのうちとくに病気のことを（ ② ）といいます。（①）が起こる背景には、（ ③ ）や作業環境の問題があります。また、職業病も、（ ④ ）のように、長時間、心身に負担がかかる状態で作業をすること、（ ⑤ ）による健康障害のように有害物質にさらされる環境で作業することなど、不適切な（③）や作業環境によって起こります。

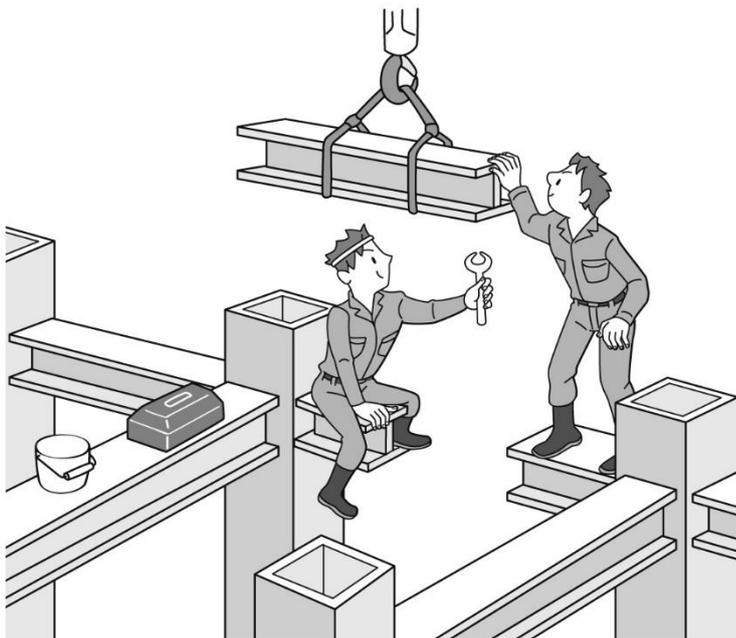
① 労働災害	② 職業病	③ 作業形態
④ VDT 障害	⑤ アスベスト	

〔問3〕 VDT 作業中のおもな注意点の下線部について、正しいものには○、間違っているものには×を書きなさい。

- ① 画面は直射日光が当たる場所に置く。
- ② 目と画面の距離は2メートル以上を確保。
- ③ まばたきはなるべくしないようにする。
- ④ 画面は視線の下側に置く。
- ⑤ 机やいすを調節して楽な姿勢で。

① ×	② ×	③ ×	④ ○	⑤ ○
-----	-----	-----	-----	-----

〔問4〕次の図の作業環境で、①危険な個所や行動を1つ抜き出さない。また、②次に安全に作業を実施するにはどのように改善すればよいかを説明しなさい。



①

※※

担当教員が評価します。

②

※※

〔問5〕過労死について、以下の各問いに答えなさい。

長時間労働、深夜労働、( ① )の大きい( ② )(配置転換、出向・単身赴任)および、それらの負担にもとづく生活習慣の( ③ )が原因となって、( ④ )が蓄積し、( ⑤ )が発生し、死亡すること。

(1) 文中の( )にあてはまる語句を語群から選び、答えなさい。

① 精神的負担	② 労働環境	③ 破綻
④ 疲労	⑤ 過労状態	

(2) 過労死とは、どのような病気で亡くなることが多いのか、3つあげなさい。

① 脳出血	② クモ膜下出血
③ 脳血栓	など

〔問1〕 次の文の（ ）にあてはまる語句を語群から選び、答えなさい。

職場では、働く人びとの健康状態を把握し、適切な（ ① ）をおこなうために、定期的に（ ② ）を実施することが（ ③ ）で義務づけられています。また、体に害を及ぼす可能性がある仕事をする場合には、特別な項目について調べる（ ④ ）がおこなわれます。このように、職場において健康問題を早期に発見し、働く人びとの健康を守ることは、本人のみならず（ ⑤ ）にとっても大切なことです。

①	②	③
④	⑤	

〔問2〕 次の文のうち、正しいものには○、間違っているものには×を書きなさい。

- ① 職場では、健康診断の実施は任意であり、義務ではない。
- ② 健康づくりに取り組む企業はまだ少ない。
- ③ 余暇は休養や気晴らしの時間以外にも活用できる。
- ④ 余暇を充実させると仕事に支障が出るので、なるべく静かに過ごすように心がける。
- ⑤ 心の健康問題への取り組みが重視されてきている。

①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---

〔問3〕 次の文の（ ）にあてはまる語句を語群から選び、答えなさい。

（ ① ）は、多くの職場にとって課題の1つです。代替りの人がいない、仕事に支障が出るなどの理由で、休暇をとるのが難しい職場もあります。その結果、休みたくても休めずに働いてしまい、（ ② ）におちいって健康を害してしまうこともあります。

現在、仕事と生活の調和（（ ③ ））という考えのもと、休暇をとりやすい職場づくりが推進されています。たとえば、職場全体で休暇計画を作成し、余暇を計画的に確保することなどがあげられます。余暇を確保し、積極的に活用する姿勢は、（ ④ ）はもちろん、（ ⑤ ）を高めていくことにもつながるのです。

①	②	③
④	⑤	



# 解答

〔問1〕 次の文の（ ）にあてはまる語句を語群から選び、答えなさい。

職場では、働く人びとの健康状態を把握し、適切な（ ① ）をおこなうために、定期的に（ ② ）を実施することが（ ③ ）で義務づけられています。また、体に害を及ぼす可能性がある仕事をする場合には、特別な項目について調べる（ ④ ）がおこなわれます。このように、職場において健康問題を早期に発見し、働く人びとの健康を守ることは、本人のみならず（ ⑤ ）にとっても大切なことです。

① 健康管理	② 健康診断	③ 法律
④ 特殊健康診断	⑤ 社会全体	

〔問2〕 次の文のうち、正しいものには○、間違っているものには×を書きなさい。

- ① 職場では、健康診断の実施は任意であり、義務ではない。
- ② 健康づくりに取り組む企業はまだ少ない。
- ③ 余暇は休養や気晴らしの時間以外にも活用できる。
- ④ 余暇を充実させると仕事に支障が出るので、なるべく静かに過ごすように心がける。
- ⑤ 心の健康問題への取り組みが重視されてきている。

① ×	② ×	③ ○	④ ×	⑤ ○
-----	-----	-----	-----	-----

〔問3〕 次の文の（ ）にあてはまる語句を語群から選び、答えなさい。

（ ① ）は、多くの職場にとって課題の1つです。代わり的人がいな、仕事に支障が出るなどの理由で、休暇をとるのが難しい職場もあります。その結果、休みたくても休めずに働いてしまい、（ ② ）におちいって健康を害してしまうこともあります。

現在、仕事と生活の調和（（ ③ ））という考えのもと、休暇をとりやすい職場づくりが推進されています。たとえば、職場全体で休暇計画を作成し、余暇を計画的に確保することなどがあげられます。余暇を確保し、積極的に活用する姿勢は、（ ④ ）はもちろん、（ ⑤ ）を高めていくことにもつながるのです。

① 余暇の確保	② 過重労働	③ ワーク・ライフ・バランス
④ 生活の質	⑤ 人生の質	

〔問4〕会社や労働組合，健康保険組合が協力して進めている健康づくり運動の，主要テーマを3つあげなさい。

① 生活習慣病予防	② 禁煙
③ メンタルヘルス	※順不同

〔問5〕将来就職した自分の姿をイメージし、どのような生活を送りたいか、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の観点から考え、具体的に述べなさい。

担当教員が評価します。